



# 誼訪台中だより

令和4年 7月20日  
荒川区立誼訪台中学校  
学校だより 第4号

## 読書三余

校長 代市 利光

「読書三余」。「どくしょさんよ」または「とくしょさんよ」と読みます。書物や文書を読むのに都合の良い余暇が3つあるということを示した言葉です。これによると、一年のうち「冬」、一日のうちでは「夜」、時のうちでは「陰雨(雨降り)」の3つの時を「読書三余」と言います。よく梅雨時には、外出もしずらく家にいることが多いだろう、ということで、テレビのニュースや情報番組でも本の紹介や読書にまつわる話題が取り上げられています。今年も、梅雨が観測史上最も早く、短かったため、あまり見かけなかった気がします。そして今は、「夏」で梅雨も明けてしまい、夜は毎日ありますが、「読書三余」に当たる時ではなくなっていました。

さて、夏休みを目前に各教科から様々な課題が生徒の皆さんには提示されていることと思います。その中に「読書」に関わるものもいくつかあります。普段本を読まない人にはつらい課題なのかもしれません。なぜ、社会や学校は「読書」を勧め、奨励するのかわかりますか。すごく簡単に説明するなら、それは「教養が身につく」からです。「教養」などというと、学力とか学歴とか勉強のことがちらつきますが、そういうことではありません。もちろん様々な知識が身につきますが、それ以外に考え方(思考法)であったり、多角的な事物の捉え方等も身につきます。また、自分で体験できないことや偉人の業績や先人の挑戦を身近に捉えたり、疑似体験できることもあります。さらにその人がもっている言葉の数が増え、その言葉を使いこなす力が増えるともいわれています。読書は個人的、閉鎖的な活動と捉えられがちですが、実は広い視野をもって様々な考え方ができて、それを豊富な言葉の知識で表現できる、という会話をより楽しくする実には開放的な趣味なのです。

「三余」の話に戻りますが、先ほど三余に当たる時が無いと書きましたが、ここで誼訪台中の「読書三余」を提唱します。

一年のうち「夏休み」 一日のうちでは「夜」 時のうちでは「雨降り」

これを「誼訪台中読書三余」とします。本家から冬が夏休みが変わっただけですが、学校が休みになってできるおおよそ7時間、まるまる予定が詰まって忙しいということもないでしょう。普段読めなかった、読まなかった分読んでみる。友達や図書館がお勧めしている本を読んでみる。前に読んだものを読み返してみる。皆さんの「三余」を充実したものにしてください。

## 家読(うちどく)始めてみませんか? ～「家読」のすすめ～

保護者の  
皆様へ

荒川区では、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言に基づき、子どもたちの豊かな心を育むために、本と出会い、読書の大切さや楽しさを実感できるよう読書活動を推進しています。

「家読(うちどく)」とは、「家族ふれあい読書」の意味で、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆をつくる取組です。今年度は家読(うちどく)に力を入れます。

### 「家読」に取り組むとこんな効果が!

- ★家庭内でのコミュニケーションが増え、家族のきずなを深めることができます。
- ★親子で夢について話し合うことができます。
- ★親子お互いに考えていることがわかります。
- ★本を読むきっかけづくりができます。
- ★今まで気付かなかった子どもの新たな発見があります。

読書を愛するまち  
あらかわ宣言

ノンフィクション作家で家読応援団の  
柳田邦男氏は、「子どもの人間形成、  
人格形成に家読は最適な実践  
活動」と語られています。



## 2・3年生の宿泊行事が無事終了しました

6月初旬に3年生の修学旅行、下旬には2年生の下田移動教室がそれぞれ予定どおりに実施できました。前に2年間は出発できると信じて準備を進めましたが、時期や行先の変更、日数の削減があり、当初立てた計画の予定どおりに実施できたのは3年ぶりになります。生徒の中には、小学生の時も中止になり初めての宿泊行事という人もいました。どちらの行事も天候に恵まれ、予定の行程をすべて消化することができました。保護者の皆様には、事前の荷物やお弁当の準備からお見送り、お迎えと様々ご協力いただきありがとうございました。

3年修学旅行



2年移動教室



### 責任と協力の大切さ

実行委員 山本 桃歌

今回の移動教室では責任感をもつことと協力することがどれほど大切なのかを知りました。すべての生徒が係になっていますが、責任をもって行動しないと他の人に迷惑がかかるからです。一般の方がいる中での活動では、ルールやマナーを守りお互いに楽しく過ごすためには責任ある行動が必要でした。また、この移動教室では協力なしで活動することは不可能でした。特にそう感じたのはサンドアートでした。今回すべてのチームが協力して作ったのでの完成度の高い作品ができ、とても良い思い出になりました。次の宿泊行事は修学旅行です。下田での経験を生かしてより楽しく充実したものにしていきたいです。

### 修学旅行を終えて

実行委員長 梅野 徳馬

この修学旅行は私たちにとって最初で最後の宿泊行事でした。本来なら1・2年で移動教室に行く予定だったが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。修学旅行も、という不安がありましたが、予定どおりに行くことができました。修学旅行では、私は多くのことを学びました。初めて経験する実行委員長としての責任です。皆の前に立ち、模範となって行動しなくてはいけないことがわかりました。また班行動では、ルートを確認して臨んだのに予定どおりにいかず、時間どおりに行動することの難しさを感じました。それでもこの3日間は、様々なことを学び、一番の思い出が詰まった3日間になりました。修学旅行で学んだ実行委員長の責任感は今後に生かしていき、またチャレンジしていきたいです。そして、このような時期に私たちを受け入れてくれた現地の方々に感謝しなくてはならないと思いました。

8月の予定 8日(月)~12日(金) 教育活動休止日 24日(水) 全校登校日  
9月の予定

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	木	始業式 確認テスト 防災訓練 教育実習(始)	16	金	到達度テスト(3)
			19	月	敬老の日
5	月	清里移動教室(1)(始)	21	水	貧血検査(1) 教育実習(終)
7	水	清里移動教室(1)(終)	22	木	区連合体育大会
12	月	常任委員会	26	月	生徒会朝礼
13	火	中央委員会	28	水	職員会議
14	水	荒教研	30	金	生徒会役員選挙